

オサダ

スイートコーン

収穫実演会

9月末開催で高い関心

オサダ農機㈱は北海道富良野市西扇山1-250167(39)2500・長田秀治社長は9月26日、スイートコーン収穫機実演会を(株)おさだ高原農場圃場(空知郡南富良野町北落合)で開催した。当日は急な告知にも関わらず道内20人の農家や農機販社担当者が参加した。



実際の作業を見て導入に向けて細かい質問が多数出た



おさだ高原農場で実機を前に説明

の動きを見て、手もぎに近い形で実がもぎ取れ、傷を付せずにコンテナまで自動搬送する構造や作業性を実感した。

機TS10(鉄コン・75ト積載)、トラクタ直装式スイートコーン収

穫機TS10D(鉄コン・1ト積載)。ともに特殊スパイラルのソフトタツ

チ等により生食用のスイートコーンを打撲もロスも無く収穫できる製品。シンプル構造で簡単メン

テでき、高評価を得ている。会場では自走式と直装式の能力や価格の違いなどへの質問が多数出た他、初めて実機を見た来場者は、実演時

26年度 北海道地方 発明協会 表彰

鉄工代表取締役・石村聡英▽発明奨励賞「調整操作が容易にできる農産物の選別機」ノブタ農機

石村鉄工、ノブタ農機 受賞

授賞式は10月24日(金)に帯広市内のホテル日航

▽日本弁理士会会長奨励賞「乾田・湿田用ローラーユニット」(株)石村行なわれる。

ラジコン草刈機全国で実演

農業・緑地管理に期待

サンエイ工業



傾斜面での作業性が評価された「スパイダー」

サンエイ工業(株) 毛利 里町光陽(44)は、
剛社長・北海道斜里郡斜 斜面对応ロータリーグラ



毛利社長

「スパイダー」は、スチOPPパー「スパイダー・ミニ」と、プロが選ぶ力強い作業性の「スパイダー・プロ」の2機種を輸入販売して好評である。

作業能力の高さとラジコンによる安全性が評価され、河川敷や果樹園などの作業に適していると注目を集め、農業関係、

緑地管理関係など幅広い分野から期待が高まっている。

4月の下旬には、チェコ共和国から製造メーカーのスパイダーデモの責任者が来日し、同社の社員とともに、全国にある農業機械関連のディーラー、農家、造園業者などを訪問した。

時期的には草がまだ伸びていなかったり、水田関連の作業で多忙な時期であったために、タイミングはあまり良くないにもかかわらず、ミニ実演

会では、幅広く農業関係者が集まり、来場者から大きな関心が示され、草刈りの時期に再び来て欲しいという声が多く聞かれた。

特に静岡県との造園関係の業者は、以前から注目していたことから、傾斜面での作業性を高く評価していたので、今後、同社では、興味を示す顧客のところを訪問して実演を行い、これまで以上に普及を進めていく。

「スパイダー・ミニ」は、最大斜面30度でも安全に作業ができるように開発されており、「スパイダー・プロ」は、40度(ILD01)、41度(ILD02)でも作業が可能。標準装備のウインチを利用することによ

り55度でも安全に作業ができる。

「スパイダー・ミニ」と「スパイダー・プロ」は、作業性が高いため、法面など斜面での草刈りはかなり重労働であることから、緑地、道路、河川、公園、公共施設、鉄道の線路横などのメンテナンスや、冬の除雪作業にも最適。

また、無線遠隔操作(ラジコン)が可能のため、エンジンのON/OFFはもちろん、360度回転、4WSを自由、そして確実、安全の操作できる。草刈り作業に対するニーズは幅広く、「スパイダー・ミニ」と「スパイダー・プロ」は多様な用途での活躍が可能なことから、草刈りの

シーズンをむかえ、様々な分野での活躍が見込まれている。

- 「スパイダー・ミニ」の主な仕様は次の通り。
- ▽エンジン || Briggs & Stratton
 - n (ブリッグス&ストラットン) ▽出力 || 6.5 HP (4.78 kW) ▽排気量 || 190 cc ▽燃料 || 無鉛ガソリン (4L)
 - ▽走行 || 油圧駆動 4WD
 - ▽走行スピード || 0~4 km/h
 - ▽時/時/操舵方向 || 360度 回転 4輪連動操舵式 ▽刈幅 || プレイド1枚 ▽刈幅 || 56cm ▽刈高 || 4~9cm ▽クラッチ || 手動 ▽作業性能 || 1500平方m/時 ▽燃費 || 1.5L/時 ▽登坂能力 || 30度 ▽寸法 || 104 × 90 × 60cm
 - ▽重量 || 125kg

オサダ農機

ロスのない収穫作業 スイートコーン実演会開催



自走式「TS10」の実演の様子



トラクタ直装式「TS10D」の実演も

オサダ農機 長田秀治社長、北海道富良野市字西扇山の1は9月26日、スイートコーン収穫機実演会を開催した。実演したのはスーパーコーンプラッカー「TS」シリーズの自走式「TS10」と、今年発売を開始したトラクタ直装式「TS10D」。手もぎが主流のスイートコーン作業に機械化が図れることから関心が高く、来場者はその様子に釘付けになっていた。

オサダ農機のスイートコーン収穫機実演会は、北海道南富良野北落合にある(株)おさだ高原農場ほ場で実施。急な告知にもかかわらず遠方からも来場者が訪れ、関心の高さをお伺いした。スーパーコーンプラッカー「TS」シリーズは、毎時約8haの高い収穫効率を実現。生食用ス

イートコーンについて、刈り取りから収納までの収穫効率を劇的に変え、規模拡大に大きく貢献する切り札として期待されている。自走式の「TS10」は、ロングクローラ

で悪条件にも強く傾斜地でも機体角度を調節。トラクタ直装式「TS10D」は、自走式の機能をそのままに自前のトラクタに直接装備が可能にし、求めやすい価格を実現させている。「TS」シリーズの主な特長は次の通り。

①専用2連カッター切り取った茎をベルトで掴み、引き上げることでロスがない収穫が可能②独自開発のスパイラルで実皮を傷つけずにもぎ取り(特許取得済み)、専用コンベアで自動的にコンテナへ収納③ハンドル

操作をしたまま、レバーの操作で刈り取り部分を上下でき、高さ合わせもスムーズ④シンプル構造で簡単メンテナンス、など。

生食用スイートコーンは、加工用に比べて単価が高く、緑肥として優れていることから注目されているが、収穫作業は作業員による手もぎが主流。早朝から始まる作業の大変さなどもあって労働力の確保が年々難しくなっているという。

こうした背景から同社では生食用スイートコーン収穫機の実用化に着手。両機共に作り込みを重ねて作業能力を高めており、実演会では手もぎに劣らない精度の収穫を披露。来場者から関心を呼んでいた。